

地域で輝く子どもたちの未来を育む

小学生 仕事読本

# お仕事ノート

近江八幡市版

企画概要



東証一部・名証一部 [証券コード：2139]

Copyright (C) 2020 CHUCO CO., LTD. All Rights Reserved.

## 自分の**将来に希望あふれる夢**を描けるように

私たちを取り巻く環境は、20世紀後半から、情報技術革新をきっかけとする社会経済・産業的環境の国際化、グローバル化など、めまぐるしく変化してきました。それに伴う産業・経済の構造的変化、雇用の多様化・流動化等のおかげで、未来に羽ばたくはずの子どもたちは、「憧れの大人像」を見つけるのが難しく、自分の将来に希望を見出しづらくなっていると言われていました。

そこで提唱されるようになったのが「キャリア教育」の必要性です。

とどまることなく変化する社会の中で、子どもたちが、希望をもって自立的に自分の未来を切り拓いて生きていくため、変化を恐れず対応していく力と態度を育てること。

家庭・地域・学校が連携して、子どもたちが「生きる力」を身につけ、柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立できるようにする教育、それが「キャリア教育」です。

### キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

- ▶平成29年3月31日に告示された(令和2年度から全面施行される)小学校学習指導要領では、総則に「キャリア教育の充実」が盛り込まれました。

(3) キャリア教育の充実 (第1章第4の1の(3))

(3) 児童が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

「小学校学習指導要領(平成29年告示)」(文部科学省)

図書館の活用等で、目標をもって生きることや社会参画への意識を高め、働くことへの理解を向上させる

学校での「勉強」が社会で生きることにつながることを学ぶこと

## 小学校におけるキャリア教育(2) / 地域学習と並行したキャリア教育の必要性

▶文部科学省による「**小学校キャリア教育の手引き(改訂版)**」では、身近な産業や職業への理解について、中学年以降に位置付けています。

小学校段階におけるキャリア発達の特徴

| 低学年  | 中学年   | 高学年  |
|--|---|--|
| 学校への適応 → 友達づくり・集団の結束力づくり → 集団の中での役割の自覚、中学校への心の準備   |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや返事をする。</li> <li>・友達と仲良く遊び、助け合う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよいところを見つけるとともに、友達のよいところを認め、励まし合う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮する。</li> <li>・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。</li> <li>・係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな職業や生き方が分かる。</li> <li>・係や当番活動に積極的にかわり、働くことの楽しさが分かる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。</li> <li>・自分に必要な情報を探す。</li> <li>・施設・職場見学等を通し、働くことの大切さや苦勞が分かる。</li> <li>・学んだり体験したこと、生活や職業との関連を考える。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。</li> <li>・作業の準備や片付けをする。</li> <li>・決められた時間や、生活のきまりを守ろうとする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。</li> <li>・日常生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。</li> <li>・将来の夢や希望をもつ。</li> <li>・計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。</li> <li>・仕事における役割の関連性や変化に気付く。</li> <li>・憧れとする職業をもち、今しなければならぬことを考える。</li> </ul>                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなもの、大切なものをもつ。</li> <li>・自分のことは自分で行おうとする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。</li> <li>・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の仕事に対して責任をもち、見付けた課題を自分の力で解決しようとする。</li> <li>・将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。</li> </ul>  |

3～4年生で、まずはいろいろな**職業**があることを学ぶ

5～6年生では産業や職業を、**身近に**体感しながら学ぶ

「小学校キャリア教育の手引き(改訂版)」(文部科学省)

日本で「キャリア教育」という文言が公的に登場したのは平成11年。  
キャリア教育推進の手引書が発行されたのは平成18年と新しい概念であり、  
教材も少ないのが現状。



子どもたちの生活する地域の産業や職業の解説本が望まれています

参考) 企画・制作事例

他エリアにおいて、教育委員会に後援していただいた事例の一部をご紹介します。



宮崎県宮崎市  
(2017年度版)  
後援／宮崎市教育委員会



長野県上田市・東御市  
(2018年度版)  
後援／上田市教育委員会  
東御市教育委員会



長野県小諸市・御代田町  
(2019年度版)  
後援／小諸市教育委員会  
御代田町教育委員会



## 「お仕事ノート」



自分の暮らす地域の産業や、具体的な会社について  
知ることができます

☞市町村ごとに発行

地元産業について、産業の仕組みや構造から、実際に  
働く人の声まで具体例を挙げながら紹介します

☞一業種一社を掲載。合計15業種の掲載予定

子どもが今の自分や将来への思いを見つめたり、  
一歩踏み込んで考えられるメモ欄つき。情報の一方通行  
ではなく、「知る」から「考える」まで導きます

☞キャリア教育の発達・推進を促す

## 地域と学校を結ぶ媒体／小学生の「お役立ち」と企業が届けたい「思い」をつなぎます

「地域みっちゃく生活情報誌<sup>®</sup>」を発行する弊社が、その地域密着力とクリエイティビティを使ってつくる、子どものキャリア教育をアシストする情報誌。

子どもたちが夢あふれる未来を描くのに必要な情報と、地元企業が子どもたちに伝えたいことをマッチングさせ、双方、そして小学校の先生にもメリットのある媒体です。







《媒体概要》

仕様：B5判 オールカラー

発行部数：約2,000部予定

発行地域：近江八幡市

配布対象：市内小学校

発行配布：9月末発行予定（年1回）

価格：無料



発行元：中広

後援：近江八幡市教育委員会

企画／編集：HAPPY MEDIA

地域みっちゃく生活情報誌®

協力：JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

近江八幡市内／配布小学校候補 ※12校

---

八幡小学校

桐原東小学校

近江兄弟社小学校

島小学校

馬淵小学校

沖島小学校

北里小学校

岡山小学校

武佐小学校

金田小学校

安土小学校

桐原小学校

老蘇小学校

**合計1,683名**